

科目名(単元名) 看護学概論	配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者	森 明広	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標 ・看護の主要概念である「看護」「人間」「健康」「環境」について理解し、看護の本質を学ぶ。 看護の対象者となる人々野健康について理解し、その人を取りまく家族の状況も含めて看護について考察する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	看護の語源 ブラインドウオーク(語源)	講義
2	2	森	「聞いてください看護師さん」から看護師像を考える 看護の歴史	講義
3	2	森	看護の定義 看護覚え書き(グループワーク)	講義
4	2	森	看護の対象について	講義
5	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義
6	2	森	第2章 看護の対象について	講義
7	2	森	看護覚え書き(グループワーク発表)	講義・演習
8	1	森	健康とは(清水 哲さんのVTR)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点)		
受講上の注意		看護の対象としての人間の健康を把握し、対象がどのような看護を必要としているのか少しでもわかることができればと考えている。 看護は科学的根拠に基づいていることがわかる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名		看護覚え書・看護の基本となるもの 現代社 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 看護学概論	配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者	遠田 友利	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標 ・看護職の成立や養成制度について学ぶことができる ・看護倫理について考え、理解することができる ・看護におけるサービスやチーム医療について理解することができる ・医療事故について学ぶことができる				
	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	遠田	4章 看護の提供者 看護職の養成制度、各資格の取得までの流れ	講義
2	2	遠田	” 新人 継続看護	講義
3	2	遠田	5章 倫理 G7-7 P210	講義
4	2	遠田	倫理 G7-7 P215	講義
5	2	遠田	6章 看護の提供のしくみ	講義
6	2	遠田	” 医療安全	講義
7	2	遠田	7章 広がる看護の活動領域 国際化 災害時	講義
8	1	遠田	(45分) ”	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験:(50点/100点中)		
受講上の注意		・事前に教科書に目を通して予習をしておいてください ・重要な言葉や意味をしっかりと理解して覚えていきましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野 看護学概論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅰ	配当時期 1年次前期	担当者 小林 幸路	実務 経験の 内容	実務経験の 有無
	単位数 1単位(15時間) 時間数 4時間			有
	看護師として、病院に勤務			

テーマと授業目標				
・看護実践するために必要な身だしなみができる 感染成立の条件、院内感染防止の基本を知り、感染予防策が実践できる ・感染予防対策について理解し必要な手洗い、マスク着用について実施できる				

授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	・技術とは何か 看護技術の特徴 看護技術の発展と習得のために ・感染防止の技術 感染成立の条件・感染予防 標準予防策	講義
2	2	小林	衛生的手洗い ビニール手袋 エプロンの着脱方法	演習
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

評価方法	筆記試験
------	------

受講上の注意	基本的な技術から医療従事者としてのありかたを学ぶ。医療従事者として改善すべきところを意識していく
--------	--

使用図書(テキスト)	出版元
図書名: 専門分野 基礎看護技術Ⅰ	医学書院
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)	出版元
図書名:	精神看護出版

使用予定の視聴覚機器
パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ
その他()

科目名(单元名) 共通基本技術論Ⅰ	配当時期 1年次前期 単位数 1単位(15時間) 時間数 11時間	担当者	松家 恵	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
			看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
・コミュニケーションの意義と目的、構成要素と成立過程を理解する ・関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解する ・効果的なコミュニケーションの実践を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	松家	コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションとは	講義
2	2	松家	コミュニケーションをとるメリット コミュニケーションを円滑にするコツ (自己開示 相手を尊重 雰囲気)	講義
3	2	松家	コミュニケーションで悩む理由 ペプロウ対人関係論、患者－看護師関係	講義
4	2	松家	ペプロウ対人関係論、患者－看護師関係 治療的・継続的別れ	講義
5	2	松家	コミュニケーションにおける 空間的距離・相対角度・表情の読み取り	講義
6	1	松家	空間的距離・相対角度・表情の読み取り 微表情について、ラポール形成(演習) コミュニケーション障害のある人の対応	講義・演習
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(75/100点)		
受講上の注意		基本的な技術から医療従事者としてのありかたを学ぶ。日常の自分自身のコミュニケーションの傾向を振り返り、医療従事者として改善すべきところを意識していく		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 医療者のためのコミュニケーション		精神看護出版		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 共通基本技術論Ⅱ	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者	大嶋 沙佑美	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標				
1.ヘルスアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学。技術を実施できる				
2.全体の観察、バイタルサインの観察、計測、系統別アセスメント、心理・社会状態のアセスメントといったヘルスアセスメントの実践について学ぶ				
3.ヘルスアセスメントによって得られた結果を、実際のケアに結び付けていく態度を養う				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	大嶋	ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントについて バイタルサイン・脈拍について	講義
2	2	大嶋	血圧について	講義
3	2	大嶋	呼吸・体温について	講義
4	2	大嶋	意識について バイタルサイン測定 一連の流れについて	講義
5	2	大嶋	バイタルサイン測定演習	講義・演習
6	2	大嶋	バイタルサイン測定演習	講義・演習
7	2	大嶋	呼吸器のフィジカルアセスメント	講義
8	2	大嶋	循環器、乳房、腋窩のフィジカルアセスメント	講義
9	2	大嶋	腹部、筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント	講義
10	2	大嶋	頭部と感覚器、外皮系のフィジカルアセスメント 心理社会状態のアセスメント	講義
11	4	大嶋	身体計測演習(フィジコ使用)	講義・演習
12	4	大嶋	身体計測演習(フィジコ使用)	講義・演習
13	2	大嶋	まとめ	講義
14				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		1) 学生便覧の「共通基本技術論Ⅱ」について確認しておくこと 2) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 3) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど、目的意識を持ち参加すること 4) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと 5) 演習時には身だしなみを整えて忘れ物をしないこと。身だしなみが整っていない場合は演習ができず欠課になります。また、演習は講義開始時まで更衣を済ませておかねば遅刻になるので注意してください 体温計・血圧計・聴診器・秒針付き時計が必要になります		
使用図書(テキスト)		出版元		
系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 『が見える③フィジカルアセス』				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・ネットワー				
その他 (DVD)				

科目名（単元名） 生活援助技術論Ⅰ	配当時期 1年次前期 単位数 1単位（30時間） 時間数 30時間	担当者	小牟田 淑子	実務経験の有無
		実務 経験の 内容	看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標 活動と・休息を整える援助技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小牟田	基本的活動の基礎知識（体位・ボディメカニクス）	講義
2	2	小牟田	移乗・移送・体位保持（ポジショニング）の基礎的知識と援助	講義
3	2	小牟田	体位変換の基礎的知識と援助（手順書）	講義
4	2	小牟田	歩行の基礎的知識と援助	講義
5	2	小牟田	車椅子での移乗・移送の基礎的知識と援助（手順書）	講義
6	2	小牟田	ストレッチャーへの移乗・移送の基礎的知識と援助（手順書）	講義
7	2	小牟田	自動運動・他動運動の援助、演習について	講義
8	2	小牟田	移動介助（体位変換・ポジショニング）の演習	演習
9	2	小牟田	移動・移送介助（車椅子・ストレッチャー）の演習	演習
10	2	小牟田	睡眠・休息の基礎的知識と援助について	講義
11	2	小牟田	嚥下・安楽の基礎的知識と援助について	講義
12	2	小牟田	安楽をもたらす身体ケア	講義
13	2	小牟田	足浴の基礎的知識と援助	講義
14・15	4	小牟田	座位・仰臥位・車椅子での足浴の演習	演習
評価方法		筆記試験（80点）課題（20点）		
受講上の注意		1）授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2）自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど目的意識を持ち、参加すること 3）テキスト・提出物の忘れ物はしないこと 4）演習時に身だしなみが整っていない場合や忘れ物がある場合など、欠課になることがあるので注意してください		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 看護が見える①基礎看護技術		出版元 医学書院 メディカ出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅱ	配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者	小林 幸路	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標				
・療養環境について理解し、その調整の技術を理解することができる ・対象者の安全・安楽・自立を考慮した環境調整について理解できる ・ベッドメイキングの基本技術を理解し、実施することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小林	ガイダンス 看護技術の根底をなすもの	講義
2	2	小林	第1章 環境調整技術	講義
3	2	小林	ベッドメイキング リネン交換（DVD視聴）	講義
4	2	小林	ベッド及びベッド周囲の説明 シーツのたたみ方（演習）	講義・演習
5	2	小林	マットレスパッド・下シーツ作成演習	講義・演習
6	2	小林	マットレスパッド・下シーツ・枕カバーまで作成演習	講義・演習
7	2	小林	臨床患者のリネン交換・手順書作成	講義
8	2	小林	手順書を見ながら臥床患者のリネン交換	講義・演習
9	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
10	2	小林	臥床患者のシーツ交換	講義・演習
11	2	小林	環境整備について 技術試験のオリエンテーション	講義
12	2	小林	環境整備	演習
13	2	小林	ベッドメイキング 演習	講義・演習
14	2	小林	臥床患者のシーツ交換（技術試験）	試験
15	2	小林	臥床患者のシーツ交換（技術試験）	講義
評価方法		筆記試験（60点） 技術試験（40点）		
受講上の注意		1. 忘れ物のないように（授業プリント、教本、副読本） 2. 予習を行い効果的に授業を受けること 3. 演習では身だしなみを整えること 4. 演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は遅刻・欠席扱いとします 5. 実習室では私語を慎むこと 6. 自主的に技術練習すること 7. 講義演習には積極的に参加すること		
使用図書（テキスト） 図書名：基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：看護覚え書 F, ナイチンゲール 看護が見えるVol.1 基礎看護技術		出版元 医学書院 出版元 現代社 MEDICMEDIA		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅲ	配当時期 1年次前期	担当者	森脇 真紀	実務経験の有無
	単位数 1 単位			有
	時間数 30時間	実務 経験の 内容	看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標 1.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する 2.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際に学ぶ 3.衣生活の基本的知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	森脇	清潔の援助 衣生活の援助の基礎知識	講義
2	2	森脇	全身清拭の実施（DVD視聴）モデル人形使用（タオル、ウオッシュクロスの絞り方、持ち方、顔・耳の拭き方）	講義・演習
3	2	森脇	全身清拭の実施（上肢・胸部、腹部の拭き方）モデル人形使用	講義・演習
4	2	森脇	入浴・シャワー浴 寝衣交換	講義・演習
5	2	森脇	全身清拭の実施 モデル人形使用（下肢・腰背部・臀部の拭き方）	講義・演習
6	4	森脇	全身清拭・寝衣交換デモスト 洗髪デモスト	講義・演習
7	4	森脇	全身清拭・洗髪の実施（学生同士で） 洗髪DVD視聴	講義・演習
8	2	森脇	全身清拭・洗髪の実施（学生同士で）	講義・演習
9	2	森脇	口腔ケア・その他整容（洗面・髭剃り・整髪） 陰部洗浄	講義
10	4	森脇	全身清拭・洗髪の実施（学生同士で）	講義・演習
11	4	森脇	全身清拭 技術試験	試験
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		1. 忘れ物をしないようにすること 2. 予習を行い、効果的に授業を受ける 3. 演習では身だしなみを整える 4. 演習開始時間に、身だしなみが整っていない場合は、遅刻・欠課とする5. 演習室は私語を慎むこと6. 自主的に技術練習すること		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ		医学書院		
看護技術Ⅱ 基礎看護学③				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名		MEDIC MEDIA		
看護が見えるVol1 基礎看護技術				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ DVD				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅳ	配当時期 1年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者	大嶋 沙佑美	実務経験の有無
				有
		実務経験の内容	看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
人にとって食・排泄の援助ができる基礎的知識・技術を身につける				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	大嶋	食事援助の基礎知識 摂食嚥下のアセスメント	講義
2	2	大嶋	摂取行動のアセスメント、食生活 医療施設で提供される食事の種類	講義
3	2	大嶋	非経口的栄養摂取の援助	講義
4	2	大嶋	摂食・嚥下訓練	講義
5	2	大嶋	食事介助の実際	講義・演習
6	2	大嶋	食事介助の実際	講義・演習
7	2	大嶋	食事援助について	講義
8	2	大嶋	自然排尿および自然排便の介助	講義
9	2	大嶋	一時的導尿・持続的導尿	講義
10	2	大嶋	排便を促す援助の基礎知識 浣腸・摘便	講義
11	2	大嶋	症状排泄援助・おむつ交換	講義
12	2	大嶋	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
13	2	大嶋	陰部洗浄・おむつ交換の練習	演習
14	2	大嶋	ストーマケア	演習
15	2	大嶋	まとめ	演習
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
受講上の注意		・事前に講義内容を理解し、演習に臨むこと・レポート課題の提出期限を順守すること ・身だしなみが整っていない場合は、演習に参加できません・演習は講義開始時間までに更衣を済ませておかないと遅刻になります		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 看護が見える① 基礎看護技術 看護が見える② 臨床看護技術			出版元 医学書院 医療情報科学研究所 医療情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 診療補助技術論	配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	担当者	小林 幸路	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標				
1.感染防止の技術について知る				
2.安全確保の技術が解かる				
3.与薬の技術がわかる				
4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	第3章 安全確保の技術	講義
2	2	小林	第12章 診察・検査・処置における技術	講義
3	2	小林	穿刺(胸腔・腹腔・腰椎・骨髄穿刺)	講義
4	2	小林	第11章 症状、生体機能管理技術 A, 症状、生体機能管理の基礎知識 B, 検体検査 C, 生体情報のモニタリング	講義
5	2	小林	C, 生体情報のモニタリング (心電図の演習)	講義・演習
6	2	小林	第9章 与薬の技術 A, 与薬の基礎知識	講義
7	2	小林	B、経口与薬 C, 吸入 D, 点眼 E、点鼻	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		・採血の技術は滅菌などの正しい知識、正しい与薬などの講義の知識の上に成り立っています ・静脈採血は演習を伴います。また技術チェックを行います ・技術点のうち、60%を満たしていない場合は点数が合格するまで技術の再チェックをします		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野 I				
基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学②③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
看護が見えるVOL.2		MEDIC MEDIA		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 診療補助技術論	配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 16時間	担当者	松家 恵	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として、病院に勤務				
テーマと授業目標				
1.感染防止の技術について知る				
2.安全確保の技術が解かる				
3.与薬の技術がわかる				
4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	松家	H、注射 第2章 感染防止の技術G、針刺し防止策 H、医療施設における感染管理	講義
2	2	松家	H、注射 (点滴静脈注射 静脈内注射)	講義
3	2	松家	H、注射 (皮下、皮内、筋肉注射)	講義
4	2	松家	検体検査 (静脈血) 血液検査について	講義
5	2	松家	注射器の使い方 駆血帯の巻き方	講義・演習
6	2	松家	静脈血採血の演習	講義・演習
7	2	松家	技術試験	試験
8	2	松家	技術試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
受講上の注意		・採血の技術は滅菌などの正しい知識、正しい与薬などの講義の知識の上に成り立っています ・静脈採血は演習を伴います。また技術チェックを行います ・技術点のうち、60%を満たしていない場合は点数が合格するまで技術の再チェックをします		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学②③			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名 看護が見えるVOL.2			MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 臨床看護総論Ⅰ	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者	小牟田 淑子 森脇 真紀	実務経験の有無
		実務 経験の 内容	両名とも看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
・健康障害をもつ対象者を理解し、経過別・主要症状別看護を理解する ・健康障害を持つ対象を理解し主要症状別看護を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森脇	ガイダンス (授業全体の流れの説明・ルール決め)	講義
2	2	森脇	息がしんどい	個人 グループワーク
3	2	森脇	むくみがひどい	個人 グループワーク
4	2	森脇	食べれない・食べにくい	個人 グループワーク
5	2	森脇	おしっこが出ない・出にくい	個人 グループワーク
6	2	森脇	ウンチが出ない・でにくい	個人 グループワーク
7	2	森脇	歩けない・動けない	個人 グループワーク
8	2	森脇	話せない・聞こえない・見えない・コミュニケーションができない	個人 グループワーク
9	2	森脇	痛みが強い	個人 グループワーク
10	2	森脇	まとめ	講義
11	2	小牟田	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ	講義
12	2	小牟田	家族の機能からとらえた対象と家族の健康上のニーズ 人々の暮らしからとらえた健康上のニーズとケアサービスの拠点	講義
13	2	小牟田	健康状態と看護 健康の維持増進を目指す看護	講義
14	2	小牟田	急性期における看護 回復期における看護	講義
15	2	小牟田	慢性期における看護 終末期における看護	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・テキストは忘れないようにしましょう		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名（単元名） 臨床看護総論Ⅱ	配当時期 2年次前期 単位数 1単位（30時間） 時間数 30時間	担当者	石谷まゆみNS・茂谷貴子NS・中島 紗和NS 後藤由美子NS・新谷桂子NS・今中悦子NS 小倉昌和DR・藤澤 一郎DR ・高瀬真也ME	実務経験 の有無
		実務 経験の 内容	全員、医療従事者【医師（DR）・看護師（NS） ・臨床工学技士（ME）】として病院に勤務	
テーマと授業目標				
・外科的治療を受ける対象者への看護について理解できる ・放射線治療を受ける対象者への看護について理解できる ・輸血・化学療法を受ける対象者への看護について理解できる ・救急時における患者の看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	石谷	救急対応の考え方 急変時における初期対応の流れ トリアージ	講義
2	2	石谷	心肺蘇生法と基礎知識について 院内急変の対応について	講義
3	2	茂谷	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護	講義
4	2	茂谷	創傷処置/創傷ケアを受ける対象者への看護 褥瘡ケア 褥瘡の分類 熱傷ケア	講義
5	2	中島	呼吸機能障害の要因を説明 呼吸障害時の患者の看護 気管吸引について	講義
6	2	中島	集中治療室について 集中治療を受ける患者の特性について	講義
7	2	後藤	手術の歴史 麻酔 術前準備 手術侵襲	講義
8	2	後藤	手術室の安全管理 手術室の環境・看護	講義
9	2	新谷	放射線治療における看護	講義
10	2	今中	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者の看護	講義
11	2	小倉	放射線治療	講義
12	2	藤澤	画像診断	講義
13	2	藤澤	画像診断 IVR	講義
14	2	高瀬	医療機器の原理と実際	講義
15	2	高瀬	医療機器の原理と実際	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		テキストでの事前学習		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 看護過程展開技術論	配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 3 0 時間	担当者	俵内 晃子	実務経験 の有無
		実務 経験の 内容		有
病院・福祉施設にて看護師として勤務				
テーマと授業目標 Ⅰ.看護過程を構成する要素と、そのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解できる Ⅱ.問題解決過程やクリティカル・シンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方を理解する Ⅲ.対象者の意思決定や治療への主体的な参画を支援する学習支援の特徴を理解できる Ⅳ.事例を用いて看護過程の展開を学ぶ				
	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	俵内	看護過程の展開の技術 1	講義
2	2	俵内	看護過程の展開の技術 2	講義
3	2	俵内	看護過程の展開の技術 3	講義
4	2	俵内	共同問題・看護診断について 1	講義
5	2	俵内	共同問題・看護診断について 2	講義 グループワーク
6	2	俵内	ゴードンの枠組みについて 1	講義
7	2	俵内	ゴードンの枠組みについて 2	講義 グループワーク
8	2	俵内	看護過程 ①アセスメント 情報収集 情報の分析	講義
9	2	俵内	看護過程 ②問題の明確化	講義 グループワーク
10	2	俵内	看護過程 ②問題の明確化	講義
11	2	俵内	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
12	2	俵内	看護過程 ③計画立案	講義 グループワーク
13	2	俵内	看護過程 ④実施 ⑤評価	講義 グループワーク
14	2	俵内	看護過程 ④実施 ⑤評価	講義 グループワーク
15	2	俵内	看護過程 看護要約（サマリー）	講義
評価方法		筆記試験（80/100点）		
受講上の注意		・A4サイズの紙ファイルを準備してください ・課題学習が多くなりますので、提示された課題は必ず学習してください ・提示された課題の提出期限は守ってください。遅れた場合は減点になります ・実習につなげられるようにしっかり理解し、学んでいきましょう。”		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
基礎看護学②				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：看護が見える④ 看護過程				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ グループワークとなることがあります ）				

科目名(单元名) 地域・在宅看護総論	配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (3 0 時間)	担当者	長井 理治	実務経験 の有無
	時間数 15時間	実務 経験の 内容		有
看護師として訪問看護ステーションに勤務				
テーマと授業目標				
1.訪問看護の対象者とその家族を理解し、在宅看護を学ぶ 2.訪問看護を取り巻く制度や社資源を理解する 3.訪問看護師の役割とこれから求められることについて理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	長井	在宅看護の目的と特徴	講義
2	2	長井	社会資源の活用 継続看護	講義
3	2	長井	多職種との連携	講義
4	2	長井	海外の地域・在宅・訪問	講義
5	2	長井	訪問看護の実際	講義
6	2	長井	精神疾患と訪問看護	講義
7	2	長井	精神疾患と訪問看護	講義
8	1	長井	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50/100点)		
受講上の注意		分からなければ質問をどんどんしてください		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名 :				
地域・在宅看護の基盤		医学書院		
地域・在宅看護の実践				
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(单元名) 地域・在宅看護総論	配当時期 2年前期 単位数 1単位（30時間）	担当者	森 由紀	実務経験の有無
	時間数 15時間	実務経験の内容		有
看護師として訪問看護ステーションに勤務				
テーマと授業目標				
在宅における医療保健福祉制度、多職種と協働することや 対象者の生活を支える活動を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	森	地域・在宅看護における看護過程	講義
2	2	森	地域・在宅看護の展開方法①	講義
3	2	森	地域・在宅看護の展開方法②	講義
4	2	森	地域・在宅看護における時期別看護	講義
5	2	森	地域在宅看護の事例展開① 脳卒中の療養者	講義
6	2	森	地域在宅看護の事例展開② ALS	講義
7	2	森	地域在宅看護の事例展開③ パーキンソン病 地域・在宅看護活動の創造と展開事例	講義
8	1	森	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（50/100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名： 地域・在宅看護の基盤 出版元 医学書院				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 出版元				
図書名				
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅰ	配当時期 2年後期	担当者	俵内 晃子	実務経験 の有無
	単位数 1単位 時間数 15時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標 1. 接遇マナーの基本を理解し実践できる。 2. 病棟・病棟外・訪問での接遇のマナーの基本について理解し実践できる。 3. 個人情報の取り扱いを理解し守ることができる。 4. 日常生活の衣・食・住に必要な基本的知識と技術について習得する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	ガイダンス 接遇について	講義
2	2	俵内	あいさつ 敬語について	講義
3	2	俵内	個人情報の取り扱いについて	講義
4	2	俵内	技術試験(病院)	試験
5	1	俵内	病院と在宅の違いについて	講義
6	2	俵内	在宅看護の際の情報収集 技術試験について	講義
7	2	俵内	訪問時の心得 コミュニケーション方法	講義
8	2	俵内	技術試験	試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点) 20点×2回		
受講上の注意		事前に予習をしておいてください		
使用図書(テキスト)			出版社	医学書院 秀和システム 小学館
図書名: 事例から学ぶ 地域・在宅看護論 訪問時のお作法から実習のポイントまで 看護の現場ですぐに役に立つ 患者接遇のキホン せいかつの図鑑				
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名)	配当時期 2年後期 単位数	担当者	宮本 真弓 加木 弘美	実務経験 の有無
	地域・在宅看護 基本技術論Ⅱ	1単位 時間数 15時間	実務 経験の 内容	両名とも看護師として 訪問看護ステーションに勤務
テーマと授業目標				
基礎看護技術を統合し、生活の場で対象に必要な看護を実践するための知識・技術・態度について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	宮本	地域における暮らしを支える看護実践 療養環境調整に関する地域・在宅看護技術	講義
2	2	宮本	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術	講義
3	2	宮本	排泄に関する地域・在宅看護技術看護技術	講義
4	2	宮本	清潔・衣生活に関する地域・在宅看護技術 与薬に関する地域・在宅看護技術	講義
5	2	加木	呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術	講義
6	2	加木	創傷管理に関する地域・在宅看護技術	講義
7	2	加木	地域・在宅看護における安全を守る看護	講義
8	1	加木	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		対症別看護については時間枠があまりとれず詳しい説明できないことが残念です。国家試験には状況設定別問題として出題されています。大事なところのポイントを絞って講義しますので、よく聞いていただきたいと思います。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：		新版 在宅看護論 木下由美子編著 医歯薬出版 訪問看護と介護の雑誌 訪問看護研修ステップⅡ（対象別看護 難病 終末期 認知症 小児慢性疾患） 在宅看護技術 その手順と教育支援		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅲ	配当時期 3年前期	担当者	藪本喜代 船越富貴恵 幸家勇人 岸田紫・田中由里 橋元充浩 宮崎健太郎 沖藤政紀	実務経験 の有無
	単位数 1単位		各人ともに、施設あるいは病院に勤務し 国家資格を持ち活動中	あり
	時間数 30時間	実務 経験の 内容		
テーマと授業目標				
1. 保健・医療・福祉チームにおける看護師および多職種の役割について理解する。 2. 多職種と連携しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する必要性を理解する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	幸家	ケアマネジャー 役割と協働を学ぼう	講義
2	2	岸田 田中	栄養士の役割について 久米田病院での実際の業務	講義
3	2	橋本	訪問看護ステーションについて 訪問看護を取り巻く環境の変化 看護師に求められる今後スキル	講義
4	2	宮崎	薬剤師 実際の業務内容の流れを知ってもらう 処方箋の読み方 副作用の考え方 多職種協働	講義
5	2	沖藤	社会福祉士の役割について 社会福祉士が活動する仕事や多職種連携の必要性を知る	講義
6	1	船越	多職種連携とは 多職種連携の必要性	講義
7	2	船越	訪問看護について 利用の流れ、制度、介護者の特徴、その他の活動	講義
8	2	船越	急性増悪し入院したOさんのケースとその後	講義
9	2	船越	急性増悪し入院したOさんのケースとその後② 社会資源について考える（退院後の退院調整）	講義 グループワーク
10	2	船越	グループワーク発表・退院カンファレンスの説明	講義 グループワーク
11	2	船越	地域ケアシステム・継続看護・ケアプラン サービス担当者会議の説明	講義
12	2	船越	サービス担当者会議の役割 内容	講義 グループワーク
13	2	船越	サービス担当者会議演習 意見交換	講義 グループワーク
14	2	船越	もしバナカード ACPIについて	講義
15	1	船越	地域資源について 家族介護事業 地域活動の報告	講義
16	2	船越	キャラバンメイト講義 グループワーク	講義 グループワーク
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名： 実践 多職種連携教育 看護師のための多職種連携攻略本		中外医学社 （株）CBR		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名)	配当時期 2年後期 単位数	担当者	船越 富貴江	実務経験 の有無
	1 単位 時間数 30時間	実務 経験の 内容	保健師とし保健所に勤務	
家族看護学				
テーマと授業目標				
・家族の持つ機能を理解し、家族全体を視野に入れた関りについて理解する。 ・基本的には家族理論を理解することで、家族に働きかけて、問題解決を図っていく技法について学ぶ ・家族のセルフケア能力を高める看護介入について理解できる ・各期の(小児期、急性期、終末期、高齢患者、精神疾患患者)家族看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船越	なぜ家族看護を学ぶのか	講義
2	2	船越	家族看護の特徴 1	講義
3	2	船越	家族看護の特徴 2	講義
4	2	船越	家族機能 現代の家族とその課題	講義
5	2	船越	ジェノグラム 看護学生のためのACP ACPについて(もしばなカード 動画)	講義
6	2	船越	ジェノグラム ACPについて(もしばなカード ACPノート)	講義
7	2	船越	家族と家族外を可視化する	講義
8	2	船越	家族と協働するための支援	講義
9	2	船越	家族看護を支える理論と介入	講義
10	2	船越	家族看護の展開 前半	講義・演習
11	2	船越	家族看護の展開 後半 地域連携	講義・演習
12	2	船越	事例 パーキンソン病	講義
13	2	船越	事例 パーキンソン病 パーキンソン病の本人の家族支援について ヤングケアラー	講義
14	2	船越	公的制度について 事例学習 パーキンソン病の本人 家族支援	講義
15	2	船越	グリーフケアについて	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・教科書を事前に読んで授業に臨みましょう ・日頃から家族に関するニュースなどにも関心を持ち、 家族をとりまく社会の理解に努めましょう。		
使用図書(テキスト)				
図書名:		出版元		
家族看護学		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他(DVD)				

科目名(单元名) 地域・在宅看護特論	配当時期 2年後期 単位数	担当者	船越 富喜江	実務経験の有無
	1単位(15時間) 時間数 15時間	実務経験の内容		有
テーマと授業目標				
在宅で療養している対象者の事例を通して、在宅での看護過程の展開が実施できる用学習する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船越	ガイダンス ①訪問看護について説明②記録類の説明③事例紹介④情報整理	講義
2	2	船越	情報収集シートの説明 「健康状態のまとめ」の発表	講義 グループワーク
3	2	船越	「健康状態のまとめ」共通理解	講義 グループワーク
4	2	船越	「日常生活」発表・解説	講義 グループワーク
5	2	船越	「精神状態」 「家族・介護者の介護能力」分析・発表	講義 グループワーク
6	2	船越	「社会資の活用」分析・発表	講義 グループワーク
7	3	船越	「看護計画」発表	講義 グループワーク
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		課題と筆記試験(100点)		
受講上の注意		・レポートの提出期限は遵守してください ・授業で配布した資料や記録用紙を閉じておくための紙ファイル(A4サイズ2穴)を準備し、すべてファイリングして毎時間持参してください ・技術試験に関しては、その技術点の60%を満たすまで技術チェックを受けること		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 統合 在宅看護論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: よくわかる在宅看護論改訂第2版		学研		
関連図で理解する 在宅看護過程 正野 逸子ら		メジカルフレンド社		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 成人看護学総論	配当時期 1年後期 単位数	担当者	栗原　みな子	実務経験 の有無
	1 単位 時間数 30時間	実務 経験の 内容		有
助産師とし保健所に勤務				
テーマと授業目標				
1.成人看護学における基盤となる考え方や理論、方法論を理解する				
2.大人の生活や健康に関する最新の動向をキャッチし時代を生きる大人の健康を多角的にとらえる視点を持つ				
3.大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方や方法を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	栗原	成人とは　対象理解・生活	講義 グループワーク
2	2	栗原	成人を取り巻く動向	講義 グループワーク
3	2	栗原	成人への看護アプローチの基本	講義 グループワーク
4	2	栗原	ヘルスプロモーション　健康を脅かす要因	講義 グループワーク
5	2	栗原	健康をおびやかす要因 健康の急激な破綻	講義 グループワーク
6	2	栗原	症状マネジメントにおける看護技術を理解できる 看護実践モデル　看護アプローチ	講義 グループワーク
7	2	栗原	急性期医療 慢性期医療	講義 グループワーク
8	2	栗原	慢性期医療 リハビリテーション	講義 グループワーク
9	2	栗原	第4章　ヘルスプロモーション	講義 グループワーク
10	2	栗原	第5章　健康をおびやかす要因と看護	講義 グループワーク
11	2	栗原	第6章　健康生活の急激な破綻とその回復を支援する看護	講義 グループワーク
12	2	栗原	第7章　慢性病とともに生きる人を支える看護	講義 グループワーク
13	2	栗原	第8章　障害がある人の生活とリハビリテーション	講義 グループワーク
14	2	栗原	第10章　様々な健康レベルにある人の継続的な移行支援	講義 グループワーク
15	2	栗原	第11章　新たな治療法　先端医療と看護	講義 グループワーク
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		1) 授業内容を自分の考え・思いを置き、しっかり学習につなげてください 2) 授業時間内で自己の学習を充実させるために個人ワーク・グループワークにしっかり取り組んでください　3) テキスト、提出物の忘れものをしないこと		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ		医学書院		
成人看護学総論　成人看護学①				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ		医学書院		
別巻　緩和ケア				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント)　・OHP　・ビデオ　・スライド　・CD　・カセットテープ				
その他（				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ	配当時期 2年前期	担当者	船本 奈央	実務経験 の有無
	単位数 1単位 (30時間) 時間数 4時間	実務 経験の 内容		有
	看護師として病院に勤務			
テーマと授業目標				
血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む 長期的な治療への専門的支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	船本	血液・造血器症状の看護 造血器腫瘍患者の看護 薬物療法	講義
2	2	船本	急性骨髄性白血病患者の看護 造血幹細胞移植を受ける患者の看護	講義
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(14/100点)		
受講上の注意		血液・造血器疾患と治療の理解		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名)	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	福田 都美恵	実務経験 の有無
	成人臨床看護論Ⅰ 血液疾患	1 単位 (30時間) 時間数 12時間		実務 経験の 内容
テーマと授業目標				
血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理を含む長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	血液の生理と造血の仕組み 貧血の種類と治療 輸血療法について	講義
2	2	福田	抗がん剤治療を受ける患者の看護 (易感染・出血傾向 貧血) 輸液療法 中心静脈点滴	講義
3	2	福田	悪性リンパ腫 病態・症状・治療 R-CHOP療法を受ける患者の看護	講義
4	2	福田	R-CHOP療法を受けるAさんの共同問題 (CP) 分析	講義・演習
5	2	福田	R-CHOP療法を受ける患者のCP分析 造血疾患の患者が治療でき なくなった時の看護 多発性骨髄腫患者の看護	講義・演習
6	2	福田	放射線治療を受ける患者の看護 血液疾患・看護の小テスト	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (40点/100点中)		
受講上の注意				
1) 授業内容を自分の考えや思いにつなげること 2) 自己の学習を充実させるために個人ワークやグループワークなど 目的意識を持ち、参加すること 3) 教科書・提出物の忘れ物はしないこと				
使用図書 (テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他 ()				

科目名(単元名)	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	大嶋 沙由美	実務経験 の有無
	成人臨床看護論Ⅰ 膠原病 アレルギー	1 単位 (30時間) 時間数 6時間		実務 経験の 内容
テーマと授業目標				
①アレルギー疾患患者の身体的特徴と心理・社会的特徴を考慮した支援の重要性を理解する ②膠原病と膠原病類縁疾患に関する医療の動向と看護の概要を理解する ③感染症患者の特徴やリスク、心理・社会的な問題を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	大嶋	アレルギー疾患患者の看護 (診察・検査・治療)	講義
2	2	大嶋	膠原病患者の看護 (診察・検査・治療)	講義
3	2	大嶋	まとめ	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (20点／100点) 授業内課題 6 点 筆記試験 14 点		
受講上の注意		国家試験に出題された問題を参考にしながら要点を押さえていきます 教科書などの忘れ物はしないでください。 授業中 演習中は私語をしない。		
使用図書 (テキスト)			出版元	
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅰ 内分泌代謝	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	中嶋 千恵子	実務経験 の有無
	1 単位 (30時間) 時間数 6 時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
内分泌・代謝疾患患者の持つ身体的特徴・心理・社会的特徴を知り、 具体的な援助方法や看護展開について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	中嶋	内分泌・代謝疾患患者の特徴と看護の役割 医療の動向・患者の特徴と看護の役割	講義
2	2	中嶋	内分泌疾患の構造と機能 内分泌器官とホルモン機能 代謝の概要と機能	講義
3	2	中嶋	脂質異常症患者の看護 糖尿病患者の看護	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(26/100点)		
受講上の注意		初回授業までに、下記テキストP2～P3を読んでおきましょう		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 図書名			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ 呼吸器	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	栗原　みな子	実務経験 の有無
	1 単位 (30時間) 時間数 16時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
1.呼吸器疾患(肺炎、気管支喘息、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺血栓塞栓)の看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	栗原	呼吸器疾患　肺がん 分類　TNM分類　ムーアの分類	講義
2	2	栗原	グループワーク　肺がん患者の看護 術前　術後の看護	講義・演習
3	2	栗原	肺がん　腫瘍マーカー　CEA　SCC　パパニコロウ染色 検査　CT　PET-CT　骨シンチ	講義
4	2	栗原	ムーアの分類(異化　同化　内分泌中心に) 術後合併症の予防について(グループワーク)	講義・演習
5	2	栗原	術後合併症の予防　8無気肺　肺炎　PE　深部静脈血栓症) グループワーク	講義・演習
6	2	栗原	グループ発表	講義・演習
7	2	栗原	放射線治療と合併症について 気管支喘息とアトピー性皮膚炎　治療薬	講義・演習
8	2	栗原	知識確認問題(グループ学習　調べ学習)　まとめ	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(55/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ 呼吸器　成人看護学②			医学書院	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント)　・OHP　・ビデオ　・スライド・CD　・カセットテープ				
その他(フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)				

科目名(单元名)	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	小林 幸路	実務経験 の有無
	成人臨床看護論Ⅱ 循環器	1 単位 (30時間) 時間数 14時間		実務 経験の 内容
テーマと授業目標				
1)循環器疾患を持つ対象の経過別看護を理解できる 2)循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護が理解できる 3)検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護が理解できる 4)事例を通し疾患の理解と看護を考えることが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	第1章 循環器の看護を学ぶにあたって 第2章 循環器の構造と機能	講義
2	2	小林	第6章 患者の看護 疾患を持つ患者の経過と看護	講義
3	2	小林	症状に対する看護(呼吸困難 チアノーゼ 失神 四肢の疼痛)	講義
4	2	小林	検査を受ける患者の看護	講義
5	2	小林	治療を受ける患者の看護	講義
6	2	小林	事例をもとに共同問題立案	講義
7	2	小林	共同問題振り返り 疾患を持つ患者の看護	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(45/100点)		
受講上の注意		積極的に参加し自己で考えましょう 提出物の期限を守りましょう		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③			医学書院	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅲ 消化器	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	新坂 幸大	実務経験 の有無
	1 単位 (30時間) 時間数 30時間	実務 経験の 内容		有
看護師として病院に勤務				
テーマと授業目標				
1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	新坂	消化器疾患患者の看護 医療の動向 特徴と看護の役割 経過別看護 消化器疾患に多くみられる症状に対する看護 (嚥下困難、嘔気、嘔吐)	講義
2	2	新坂	消化器疾患に多くみられる症状に対する看護 (腹痛 吐下血 下痢 便秘) 薬物療法を受ける患者の看護 上部内視鏡を受ける患者の看護 栄養、食事療法	講義
3	2	新坂	下部内視鏡を受ける患者の看護 消化器疾患の経過と看護 (胃食道逆流症) 胃 十二指腸疾患患者の看護 (胃十二指腸 胃がん患者の看護)	講義
4	2	新坂	胃がん患者の看護 (ESD) 腸、腹膜疾患患者の看護 肝臓・胆のう疾患患者の看護 (胆石 胆のう炎 胆管炎)	講義
5	2	新坂	消化器疾患患者の経過と看護 肝硬変 急性膵炎 慢性膵炎	講義
6	2	新坂	消化器疾患患者の看護 看護過程の展開	講義
7	2	新坂	消化器疾患患者の看護 看護過程の展開	講義
8	2	新坂	消化器疾患患者の看護 看護過程の評価	講義
9	2	新坂	手術を受ける患者の看護 外科看護とは 術前検査について	講義
10	2	新坂	術前・術後の看護	講義
11	2	新坂	術後の看護 (ドレーン管理 合併症について) 食道がんについて	講義
12	2	新坂	胃がんについて	講義
13	2	新坂	急性腹膜炎 ヘルニア 腸閉塞 大腸がん	講義
14	2	新坂	大腸がん術後ストーマケア 化学療法ケア	講義
15	2	新坂	看護展開について	講義
評価方法		筆記試験 (100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト)				
図書名 : 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器			出版元 医学書院	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅳ 脳神経	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	新坂 幸大	実務経験 の有無
	1 単位 (30時間) 時間数 10時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
脳神経疾患患者の特徴と治療を理解し、治療管理をふうむ長期的な治療への専門支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	新坂	脳と脊髄 中枢と末梢 脳神経と脊髄神経 脳疾患を学ぶ上で必要な基礎知識	講義
2	2	新坂	脳神経 1 2 追その役割の詳細 中枢神経(脳)について 髄膜 について 脳出血(膜内の出血について)	講義
3	2	新坂	脳の検査 CT・MRIの違い 脳出血(硬膜外、硬膜下、くも膜 下) 被殻出血 視床出血 橋出血 小脳出血	講義
4	2	新坂	神経疾患 多発性硬化症 脱髄疾患	講義
5	2	新坂	ALS ギランバレー症候群 脳梗塞 (アテローム血栓 ラクナ TIA)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(25点/100点)		
受講上の注意		授業内容を自分の考えや思いにつなげること 教科書、提出物の忘れ物はしないこと		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経 成人看護学Ⅳ			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅳ 脳外科	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	宮本 麻侑子	実務経験 の有無
	1 単位 (30時間) 時間数 4時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
脳神経外科看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	医療の動向と看護 症状と病態生理 検査 診断 疾患の理解と看護 脳梗塞	講義
2	2	宮本	疾患を持つ患者の看護 (脳出血・くも膜下出血) リハビリテーションを受ける患者の看護	講義・演習
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (15/100点)		
受講上の注意				
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16 時間	担当者	栗原　みな子	実務経験の有無
			実務経験の内容		有
助産師として病院に勤務					
テーマと授業目標					
1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	栗原	運動器疾患をもつ患者に対する看護の役割 大腿骨骨幹部骨折患者の経過と看護		講義
2	4	栗原	変形性膝関節症による人口膝関節置換術		講義
3	4	栗原	大腿骨頸部骨折患者の看護		講義
4	4	栗原	上腕骨骨折患者の看護		講義
5	2	栗原	腰痛のある患者の看護		講義
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験			
受講上の注意					
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座　専門分野Ⅱ 運動器　成人看護学⑩			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント）　・OHP　・ビデオ　・スライド　　・CD　・カセットテープ その他（演習では松葉杖、車いすなどを使用する　　）					

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅴ 腎・泌尿器①	配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 12時間	担当者	福田 都美恵	実務経験 の有無
		実務 経験の 内容	看護師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	泌尿器系解剖 生理	講義
2	2	福田	腎・泌尿器科の検査(新鮮尿、中間尿、24時間尿) IVP・膀胱鏡の看護 膀胱疾患患者の看護(膀胱がん 膀胱炎)	講義
3	2	福田	前立腺の解剖、前立腺炎患者の看護 前立腺肥大患者の看護 前立腺がん患者の看護	講義
4	2	福田	腎臓の解剖・腎盂腎炎患者の看護 腎がん・結石の患者の看護・腎生検時の看護	講義
5	4	福田	腎・泌尿器科疾患の放射線療法の看護	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(40/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅴ 腎・泌尿器②	配当時期 2年後期 単位数	担当者	宮崎 絵美	実務経験 の有無
	1単位 (30時間) 時間数 4時間	実務 経験の 内容		有
看護師として病院に勤務				
テーマと授業目標				
・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮崎	医療の動向と看護 患者の特徴と看護の役割 腎臓の働き 腎不全について	講義
2	2	宮崎	腎不全の看護について 急性腎不全・慢性腎不全 療法選択 (Shair Decision Making)	講義
3			透析療法・透析治療の看護 (血液透析・腹膜透析)、 透析の開始と継続に関する意思決定支援プロセスの提言	
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (15/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ 女性生殖器	配当時期 2年後期 単位数	担当者	中嶋 千恵子	実務経験 の有無
	1単位 (30時間) 時間数 8時間	実務 経験の 内容	助産師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
・女性生殖器疾患の必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中嶋	女性生殖器疾患の理解 患者の特徴 看護の役割 診療解除における看護	講義
2	2	中嶋	性感染症(クラミジア・梅毒等)保健指導 子宮頸がん・子宮体がんの看護について	講義
3	2	中嶋	乳がんについて 月経周期の復古	講義
4	2	中嶋	卵巣がん 子宮筋腫について 女性生殖器の周手術期の看護	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(25/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 出版元 医学書院				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 成人臨床看護論Ⅴ 感覚器	配当時期 2年後期 単位数	担当者	大嶋 沙佑美	実務経験 の有無
	1単位(30時間) 時間数 6時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
・感覚器疾患による障害を理解する・感覚器の障害がある患者への必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	大嶋	歯・口腔の感がを学ぶにあたって 口腔症状のある患者の看護 口腔ケア	講義
2	2	大嶋	耳鼻咽喉の看護を学ぶにあたって 耳鼻咽喉領域の患者の看護 摂食嚥下障害患者の看護	講義
3	2	大嶋	目に障害のある患者の看護 皮膚疾患患者の看護 スキンケア”	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(20/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔				
出版元 医学書院				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 老年看護学総論	配当時期 1 年後期 単位数	担当者	松家 恵	実務経験 の有無
	1 単位 時間数 30時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
1.加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する 2. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活及び健康を支える看護について理解する 3.高齢者を取り巻く社会制度および保健・医療・福祉の動向と諸問題を学び看護の役割を理解する 4.多様な生活の場で、高齢者の健康を支える看護について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	松家	高齢者の理解 ・高齢者とは・高齢者の特徴と理解	講義
2	2	松家	高齢者の理解 ・生活歴についてのグループワーク ・高齢者にとっての健康	講義 グループワーク
3	2	松家	高齢者の健康状態のアセスメント 高齢者にとってのQOL	講義
4	2	松家	高齢者の加齢に伴う変化	講義
5	2	松家	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者の生活と家族	講義
6	2	松家	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者を支える制度	講義
7	2	松家	介護保険制度	講義
8	2	松家	介護保険サービス内容について	講義
9	2	松家	長期療養施設 在宅サービス及び看護	講義
10	2	松家	高齢者看護の特性 高齢者看護の倫理	講義
11	2	松家	高齢者のアセスメントの特徴	講義
12	2	松家	高齢者のバイタルサイン特性	講義
13	2	松家	高齢者によくみられる疾患 高齢者の健康づくり	講義
14	2	松家	高齢者の生活を支える看護	講義
15	2	松家	高齢者理解のための演習	講義・演習
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		教科書や資料などから、復習しましょう 教科書掲載の関連動画を視聴しましょう 社会で怒っている高齢者に関することにも関心を持ちましょう		
使用図書（テキスト） 図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害			出版元 メディカ出版	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(单元名) 老年臨床看護論Ⅰ	配当時期 2 年前期 単位数	担当者	新坂 幸大	実務経験 の有無
	1 単位 時間数 15時間	実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
高齢者の身体的特徴、疾患を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	新坂	老年期の身体的特徴 内分泌の変化 性ホルモン（FSH LH エストロゲン） 骨代謝（パラソルモン カルシトニン）	講義
2	2	新坂	老年期に特有の徴候 脱水 便秘 難聴 老視 白内障 加齢黄斑変性症 睡眠の変化	講義
3	2	新坂	COPD 肺水腫 知識確認問題①	講義
4	2	新坂	心不全 循環器疾患	講義
5	2	新坂	パーキンソン病 パーキンソン症候群 レボドパ・抗コリンについて パーキンソン病の看護	講義
6	2	新坂	肺結核 貧血 浸透圧 知識確認問題②	講義
7	2	新坂	認知症 うつ病	講義
8	1	新坂	うつ病 テスト対策	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		ノートに書き込む		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：				
高齢者看護の実践				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・（スライド） ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目名（単元名） 老年臨床看護論Ⅱ	配当時期 2年次前期 単位数 1単位（30時間） 時間数 30時間		担当者	仲喜 陽子	実務経験の有無
			実務経験の内容	看護師として病院に勤務	有
テーマと授業目標 老年期の特徴を踏まえてアセスメントを行い必要な看護を判断できる 高齢者の尊厳の重要性を理解しQOLの点視から必要な看護を考えることができる 高齢者に起こりやすい症候・疾患・障害についての看護を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	仲喜	食生活を支える看護（嚥下障害・低栄養）		講義・演習
2	2	仲喜	排泄を支える看護（排尿・排便障害）		講義・演習
3	2	仲喜	清潔・衣生活を支える看護 活動と休息を支える看護		講義・演習
4	2	仲喜	歩行と移動を支える看護		講義
5	2	仲喜	高齢者に起こりやすい症状のアセスメント		講義
6	2	仲喜	精神・神経機能障害と看護		講義
7	2	仲喜	呼吸機能障害と看護		講義
8	2	仲喜	循環機能障害と看護		講義
9	2	仲喜	視覚・聴覚・皮膚疾患と看護		講義
10	2	仲喜	泌尿器・感染症と看護		講義
11	2	仲喜	高齢者に特徴的な症候・疾患・障害		講義
12	2	仲喜	終末期の看護		講義
13	2	仲喜	治療を受ける高齢者の看護		講義
14	2	仲喜	認知症の症状理解と看護		講義
15	2	仲喜	久米田病院の事例を通して認知症高齢者の支援とサポートシステムを理解する		講義
評価方法		筆記試験（100点/100点）			
受講上の注意		演習やグループワークなどを通して理解を深め、看護を実践するための知識と技術の習得を目指す			
使用図書（テキスト） 図書名： ナーシンググラフィカ 老年看護学②			出版元 メディカ出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・（ビデオ） ・（スライド） ・（CD） ・カセットテープ その他（ ）					

科目名(单元名) 老年看護学特論	配当時期 2年後期	担当者	森脇 真紀	実務経験の有無
	単位数 1単位	実務経験の内容		有
	時間数 15時間		看護師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
・既習の学習内容を統合し、老年期における人々を全人的にとらえるために必要な情報収集の視点、アセスメントの進め方を理解する ・内容:全身麻酔の手術を受ける老年患者のパーパーシュミレーションを用いた看護過程の展開				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森脇	事例提示(大腸がん) 急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
2	2	森脇	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
3	2	森脇	急性期における共同問題 個人ワーク	講義 個人ワーク
4	2	森脇	共同問題 (麻酔からの覚醒遅延・呼吸器合併症・循環器合併症)分析	講義 個人ワーク
5	2	森脇	共同問題 (術後出血・深部静脈血栓症・術後疼痛・術後せん妄)分析	講義 個人ワーク
6	2	森脇	共同問題 (縫合不全・腸閉塞・手術部位感染・ストーマ早期合併症)分析	講義 個人ワーク
7	2	森脇	看護問題について	講義・演習
8	1	森脇	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・学習は計画的に進めていきましょう・学習に必要なテキストおよび参考書は各自で準備してください・課題レポートは提出期日を守ってください・科目の表kを受けるには、筆記試験及び技術試験の両方を受ける必要があります・技術点に関してはその技術点の60%を満たされるまで技術チェックを受ける必要があります		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 老年看護学概論			南江堂	
老年看護技術			南江堂	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名: 生活機能から見た老年看護過程			医学書院	
根拠と事故防止から見た老年看護技術			医学書院	
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名)	配当時期 2 年前期	担当者	合田 友美	実務経験 の有無
	単位数 1 単位 時間数 30時間			有
小児看護学総論		実務 経験の 内容	大学病院に看護師として勤務	
テーマと授業目標				
1.小児の健康問題や小児を取り巻く環境・社会・福祉の現状を捉え、小児看護の基本的な考え方を習得する				
2.健康障害のある小児とその家族の特徴を理解し、健康の回復保持、増進のための看護を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	合田	小児看護の特徴と理念	講義 グループ ディスカッション
2	2	合田	小児と家族を取り巻く環境と社会 小児の権利と小児看護	講義 グループ ディスカッション
3	2	合田	小児の成長・発達 ―乳児期―身体発育 感覚・運動機能	講義 グループ ディスカッション
4	2	合田	小児の成長・発達 乳児期―幼児期― 情緒・社会性	講義 グループ ディスカッション
5	2	合田	小児の成長・発達 言語・認知機能	講義 グループ ディスカッション
6	2	合田	小児の成長・発達 ―学童・思春期―	講義 グループ ディスカッション
7	2	合田	小児と家族を取り巻く社会 ―小児に係る法律や施策―	講義 グループ ディスカッション
8	2	合田	病気・障がいのある小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
9	2	合田	災害時の小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
10	2	合田	外来および入院中の小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
11	2	合田	症状を示す小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
12	2	合田	急性期・周手術期にある小児とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
13	2	合田	慢性期にある子供とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
14	2	合田	終末期にある子供とその家族の看護	講義 グループ ディスカッション
15	2	合田	検査・処置を受ける小児と家族の看護	講義 グループ ディスカッション
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		・本講義では、グループディスカッション等、参加型の要素を取り入れています。そのためワークへの積極的な参加を期待 します		
使用図書（テキスト）			出版元	
図書名：系統看護学講座 小児看護学概論			医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元	
図書名：				
授業毎に紹介させていただきます				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名)	配当時期 2 年次後期	担当者	松元 陽一	実務経験の有無
				有
小児臨床看護論Ⅰ	単位数 1 単位 時間数 30時間	実務経験の内容	医師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を学び、看護過程展開に必要な知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	3	松元	先天異常～新生児	講義
2	3	松元	新生児～内分泌（疾患）	講義
3	3	松元	内分泌～免疫（疾患）	講義
4	3	松元	免疫～感染症（疾患）	講義
5	3	松元	感染症（疾患）	講義
6	3	松元	循環器（疾患）	講義
7	4	松元	消化器（疾患）	講義
8	4	松元	血液（疾患）	講義
9	4	松元	腎疾患	講義
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 別巻2 臨床外科看護各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名)	配当時期 2 年後期	担当者	俵内 晃子	実務経験の有無
				有
小児臨床看護論Ⅱ	単位数 1 単位 (30時間) 時間数 8 時間	実務経験の内容	病院・福祉施設にて看護師として勤務	
テーマと授業目標				
1:小児の成長・発達段階を理解し、疾患や障害が子供とその家族の身体的・精神的・社会的側面に与える影響について理解できる				
2:小児の代表的な疾患の経過・症状・治療を理解し、それに応じた看護について理解できる				
3:疾患や障害を持つその子供とその家族の特徴を理解し、健康の回復・保持・増進を目指した看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	先天異常のある子どもの看護 発達段階に添って説明 L8トリソミー	講義
2	2	俵内	染色体異常のある児の看護(21トリソミー) 低出生体重児の看護	講義
3	2	俵内	低出生体重児の看護 新生児死の認められる子供の看護 (新生児死の評価 アルゴリズム)	講義
4	2	俵内	子どもの看護 運動器(骨折・ギプス固定・先天性内反足) 感覚器(中耳炎・視力検査)	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(26点/100)		
受講上の注意		講義資料・教科書は必ず持ってくるようにしてください		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 小児臨床看護論Ⅱ	配当時期 2年後期 単位数	担当者	西田 千夏	実務経験 の有無
	1単位(30時間) 時間数 14時間	実務 経験の 内容		有
小児専門病院で内科系看護師として勤務				
テーマと授業目標				
小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、 小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	西田	呼吸器系疾患の小児と家族の看護	講義
2	2	西田	免疫アレルギー系疾患の小児と家族の看護	講義
3	2	西田	循環器系疾患の小児と家族の看護	講義
4	2	西田	消化器系疾患の小児と家族の看護	講義
5	2	西田	代謝・内分泌系疾患の小児と家族の看護	講義
6	2	西田	腎・泌尿器系疾患の小児と家族の看護	講義
7	2	西田	血液・造血器疾患・悪性新生物の小児と家族の看護	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（47点/100） 提出課題評価 7点		
受講上の注意		小児看護学概論・総論の復習をして臨みましょう		
使用図書（テキスト）			出版元	
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論			医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ	配当時期 2年後期	担当者 宮下 美香	実務経験の有無 有	
	単位数 1単位			
	時間数 8時間(4回)/30時間	実務経験の内容 PICU・NICU/GCU・小児科病棟など		
テーマと授業目標 小児特有の健康問題を理解し、成長・発達段階や家族背景、生活環境を踏まえた看護実践について学ぶ。特に、ハイリスク状態の児と家族の看護、疾患や障害を抱える医療的ケア児の看護、事故予防や健康管理、および虐待が疑われる児の対応などに焦点を当て、子どものいのちや生活を守る看護師の役割を考察する。 1.小児特有の疾患や障害が児と家族に与える影響について理解することができる。 2.疾患の特徴(病態・症状・治療)を踏まえ、成長・発達段階や家族背景、生活環境に応じた看護について理解することができる。 3.小児における安全管理や健康管理の重要性を、予防的視点から理解することができる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮下	周産期からNICUにおける看護 ・ハイリスク妊婦と胎児への影響 ・早産・低出生体重児の特徴 ・NICUにおける看護 ・家族支援	教科書・スライド
2	2	宮下	先天性疾患をもつ児の看護 ・先天性疾患の特徴(21トリソミー、先天性心疾患など) ・疾患の経過、成長・発達段階に応じた看護 ・医療的ケア児の在宅移行支援	教科書・スライド
3	2	宮下	子どもの状況・環境に特徴づけられる看護 ・外来、入院環境での看護 ・検査、手術を受ける児の看護	教科書・スライド
4	2	宮下	子どもの安全と療養環境に応じた看護 ・子どもに多い事故(院外、院内)と予防対策 ・子どもの感染症と予防対策 ・児童虐待の種類、リスク要因、対応、子どもと家族への援助	教科書・スライド
5	1		筆記試験	
6				
7				
8				
9				
評価方法		筆記試験 27点配分		
受講上の注意		教科書・資料は必ず持参してください		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名：上記同様		照林社		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 小児看護学特論	配当時期 2年後期	担当者	俵内 晃子	実務経験 の有無
	単位数 1単位 時間数 15時間			有
実務経験の内容 病院・福祉施設にて看護師として勤務				
テーマと授業目標 ・健康障害のある小児の事例を通して、看護展開ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	オリエンテーション 事例紹介 情報収集方法 発達分析方法を説明	講義
2	2	俵内	発達分析発表 パターン2「疾患について」分析の説明	講義・演習
3	2	俵内	発達・疾患の発表 パターン3「日常生活援助について」説明	講義・演習
4	2	俵内	疾患の発表 パターン4「対象を取り巻くサポート支援」	講義・演習
5	2	俵内	疾患の発表 日常生活援助発表(食・排泄) パターン5「今後の方向性」説明	講義・演習
6	2	俵内	日常生活援助(更衣～事故まで)	講義・演習
7	1	俵内	サポート支援	講義・演習
8	2	俵内	今後の方向性	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		・授業のペースについていけるように、自己学習を進めること・各自必要な文献は持参すること・最終提出期限に提出できない場合、試験当日に欠席した場合は、どちらか1つでも追試験の対象になる・遅刻は、15分未満の場合のみ、記録提出・試験受験可能とする		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 解剖生理学 成人看護学③ 循環器			出版元 医学書院 医学書院 医学書院 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットケーブ その他()				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅰ	配当時期 2 年前期		担当者	勝田 真理	実務経験の 有無
	単位数 1 単位 (30時間)	有			
	時間数 8時間	実務経験の 内容	助産師として、病院に勤務		
テーマと授業目標					
・妊娠期の身体的・社会的変化を理解する ・妊娠と胎児の健康状態のアセスメントについて必要な情報を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	勝田	生命の誕生（DVD） 妊娠の成立 赤ちゃん人形で育児体験		講義
2	2	勝田	胎児について→模型 胎児の発育・胎児環境		講義
3	2	勝田	妊婦と胎児のアセスメント 妊娠期の心理・特性 バースプラン		講義
4	2	勝田	演習 ☆レオポルド触診法 ☆子宮底・腹囲の計測		講義・演習
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（27点／100点）			
受講上の注意					
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ ビデオ ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅰ	配当時期 2 年前期	担当者	片山 美保	実務経験の有無
	単位数 1 単位(30時間)			有
	時間数 8 時間	実務経験の内容	助産師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
1.分娩の経過に伴う身体変化および心理・社会的変化が理解できる 2.産婦の看護についてアセスメントでき、その援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	片山	分娩の3要素とその機序が理解できる ・分娩の3要素 ・分娩機序	講義
2	2	片山	分娩の進行・経過診断、および進行に伴う身体的変化と産婦の反応や心理的へんかについて理解できる。 ・分娩の経過Ⅰ～Ⅳ期・産期の身体的変化、胎児の変化 ・産婦の心理、社会的変化	講義
3	2	片山	分娩の正常な進行と産婦・胎児の健康状態、産婦・家族の心理、社会的側面をアセスメントできる。 ・基本的情報の収集 ・分娩経過のアセスメント(安全) ・分娩進行に伴う反応のアセスメント(安楽) ・基本的ニード ・母親役割獲得準備 ・家族関係	講義
4	2	片山	分娩進行に沿って、アセスメントの視点・看護援助の実際理解で ・産婦と家族の看護、事例展開(グループワークと個人ワーク)	講義 グループワーク
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
評価方法		筆記試験(27点/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(骨盤模型・胎児人形)				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅰ	配当時期 2年前期	担当者	中嶋 千恵子	実務経験 の有無
	単位数 1単位(30時間) 時間数 14時間	実務経験 の内容	助産師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
1.褥婦・新生児の生理的変化を理解する 2.褥婦のセルフケア能力が維持・増進できる看護援助について理解できる 3.褥婦・新生児とその家族に対する援助が理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中嶋	・正常産褥 産褥期における看護 ・産褥経過・産褥のアセスメント(進行性変化・退行性変化)	講義
2	2	中嶋	・産褥経過・褥婦のアセスメント(心理・社会的変化) ・褥婦と家族の看護・育児に係る看護	講義
3	2	中嶋	・施設退院後の看護 ・育児不安と育児支援	講義
4	2	中嶋	・新生児の生理 ・新生児期の健康状態のアセスメント	講義
5	2	中嶋	・新生児のアセスメント ・バイタルサイン測定 全身の観察(フィジカルアセスメント)	講義
6	2	中嶋	・新生児期における看護 ・出生直後の看護 栄養 清潔(沐浴) 環境	講義
7	2	中嶋	・新生児の事故防止と医療安全 ・正常産褥・新生児の看護 まとめ	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(46点)		
受講上の注意		母性看護学実習では、新生児のバイタルサイン測定・褥婦の進行性変化・退行性変化の観察を必ず行います。授業をしっかり聞いて実習に備えましょう。		
使用図書(テキスト)		出版元		
1:母性看護学② 専門分野 母性看護学各論		【出版元 医学書院】		
2:ウエルネスからみた母性看護過程		【出版元 医学書院】		
3:母性看護技術(看護実践のための根拠がわかる)		メジカルフレンド社		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
母性看護学1 妊娠・分娩		医歯薬出版株式会社		
母性看護学1 産褥・新生児		医歯薬出版株式会社		
ウエルネスから見た母性看護過程		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 母性臨床看護論Ⅱ	配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間		担当者	中西 健太郎	実務経験の有無
			実務経験の内容	医師として、病院に勤務	
テーマと授業目標					
妊娠、分娩、産褥、新生児の正常異常を理解する					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	中西	ハイリスク妊娠(母子感染症)		講義
2	2	中西	ハイリスク妊娠②(母子感染症、妊娠中の糖代謝異常)		講義
3	2	中西	妊娠持続期間の異常 胎児付属物の異常		講義
4	2	中西	妊娠持続期間の異常 産道の異常		講義
5	2	中西	産道の異常、新生児の異常、遺伝相談(カウンセリング)		講義
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(33点/100点)			
受講上の注意		テキストを忘れないようにしましょう			
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論			医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
病気が見える 産科			医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(プリント)					

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ	配当時期 2年後期		担当者 廣田美喜子	実務経験の有無	
	単位数 1単位	有			
	時間数 20時間	実務経験の内容 助産師として産科病棟 NICU病棟に勤務する			
テーマと授業目標 次世代を担う子どもが健やかに生まれ育成されるために、マタニティサイクルにある妊産褥婦と胎児、および新生児の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から総合的にアセスメントし、以上経過にある対象にフォーカスして必要な看護を学ぶ。					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	廣田	【女性特有のホルモン】女性とホルモン HPV 人工妊娠中絶がもたらす心身の影響妊娠中の身体的変化 精神的変化		講義
2	2	廣田	【妊娠に影響する疾患】内分泌疾患(例: 1型糖尿病)の妊婦の苦悩 胎児に影響する外的要因(煙草、アルコール、カフェインその他)		講義
3	2	廣田	【妊娠中のマイナートラブル】 妊娠悪阻 流産、早産 高齢出産		講義
4	2	廣田	【出生前診断】出生前診断の方法 染色体異常の種類と特徴(21トリソミー、18トリソミー、13トリソミー)		講義
5	2	廣田	【異常分娩】 分娩時の異常出血 妊娠高血圧症候群 前置胎盤 常位胎盤早期剥離 DICの機序帝王切開 双胎(多胎)		講義
6	2	廣田	【産褥期の異常】 ①子宮復古不全②乳腺トラブル③産褥熱		講義
7	2	廣田	【不妊症】 女性不妊症と男性不妊症(原因、検査、治療) 生殖器系の悪性疾患(子宮がん、乳がん、精巣腫瘍等性病) 性感染症(HIV感染症クラミジア感染症、梅毒、淋病他)		講義
8	2	廣田	【新生児の異常】 ①新生児仮死②分娩外傷③低出生体重児④高ビリルビン血症		講義
9	2	廣田	【育児に困難をかかえる母親の看護】 赤ちゃんポスト 多胎児の母親への援助 児を亡くした母親の援助 児童虐待(身体的・心理的・ネグレクト・性的虐待)		講義
10	2	廣田	【メンタルヘルス】 マタニティブルー 産後うつ病 【性的マイノリティ】 トランスジェンダー(Transgender)性的マイノリティの関り		講義
11					
12					
13					
評価方法		試験を基本として、授業参加型姿勢等により総合的に評価する			
受講上の注意		シラバスに記載された講義テーマに該当する部分を参考書やネット等で検索し、専門用語や原理等をまとめて45分以上学修する。			
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学各論			出版元 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント・OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(DVD視聴NHK: DVD-BOX透明なゆりかご、児童虐待を防ぐ、性感染症、医療現場における性の多様性他)					

科目名(単元名) 母性看護学特論	配当時期	2 年後期	担当者	中嶋 千恵子	実務経験の有無
	単位数	1 単位			有
	時間数	15時間	実務経験の内容	助産師として、病院に勤務	
テーマと授業目標					
女性のライフサイクルで特に母性機能の活発な時期の女性を、一例ペーパーシュミレーションにて展開し、母性実習の看護の展開に役立てる 事例を通して、対象とその家族への基本的な援助ができる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	中嶋	母性看護の看護過程（ウエルネスの考え方）事例紹介 妊娠～分娩期の情報と分析のポイント		講義
2	2	中嶋	産褥期・新生児の情報と分析ポイント 分析		講義・演習
3	2	中嶋	事例分析		講義・演習
4	2	中嶋	事例の発表 グループワーク		講義 グループワーク
5	2	中嶋	沐浴演習 調乳		講義・演習
6	2	中嶋	事例全体の発表とまとめ		講義
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（100点）			
受講上の注意		わからないことはどんどん聞いてください。演習はユニフォームをきちんと着用して身だしなみを整えてください。提出用にA4の紙ファイルを用意してください。今までに母性で使 用した資料をすべて持ってきてください。母性看護学実習の事前学習課題の提出もあります			
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2）					
母性看護学概論 母性看護学各論			医学書院		
母性看護技術			メジカルフレンド社		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
母性看護学1 妊娠・分娩			医歯薬出版株式会社		
母性看護学1 産褥・新生児			医歯薬出版株式会社		
ウエルネスから見た母性看護過程			医学書院		
ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程			医歯薬出版株式会社		
使用予定の視聴覚機器					
（ パワーポイント ） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他（ ）					

科目名(単元名) 精神看護学総論	配当時期 2 年前期	担当者	深井 博文	実務経験の 有無
	単位数 1 単位			有
	時間数 15時間	実務経験の 内容	看護師として病院に勤務	
テーマと授業目標				
1.精神看護学の基本的な考え方、精神看護の視点や態度をまなぶ 2.精神科医療の世界的な動向と日本の現状を理解する 3.心を病んだ人々への精神医療と看護の変遷を理解できる 4.精神障害者の看護に必要な法制度を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	深井	精神とは 精神看護学を学ぶ理由とは 精神障害を持つ人とは	講義
2	2	深井	精神の健康とは 正常・異常 ふつうとは 精神と身体に関連	講義
3	2	深井	フロイトの3層構造 防衛機制 精神力動的視点	講義
4	2	深井	防衛機制 ストレスに対する心身への影響 対処法	講義
5	2	深井	精神障害の歴史と法制度 行動制限について	講義
6	2	深井	精神障害と社会学 心神喪失と心身耗弱	講義
7	2	深井	精神保健医療福祉対策の動向 自殺対策	講義
8	1	深井	精神科領域で必要な法律と制度 今後の課題	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		精神障害についての理解を深め、精神障害を持つ対象者の看護について考えていきましょう		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：精神看護学① 精神看護の基礎		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（ パワーポイント ） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 精神保健論	配当時期		担当者	深井 博文	実務経験の有無
	単位数	2 年前期			有無
	時間数	1 単位	実務経験の内容	看護師として病院に勤務	
	30 時間				
テーマと授業目標					
・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。					
また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実例、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	深井	フロイトの発達理論（局所論・構造論） 防衛機制・小児の発達		講義
2	2	深井	ユング（集合的無意識・転移・逆転移） エリクソン（心理社会的発達論）		講義
3	2	深井	ピアジェ発達心理学 セクシュアリティと精神保健		講義
4	2	深井	「レジリエンス」を知っていますか ストレスをスルー出来る心の強さ		講義
5	2	深井	心が壊れている人に見られる顔つきや特徴 心が壊れる5つの前兆		講義
6	2	深井	生活の場とクライシス 家庭における危機		講義
7	2	深井	学校における危機		講義
8	2	深井	職場における危機		講義
9	2	深井	地域における危機 医療現場における危機		講義
10	2	深井	リエゾン精神看護①		講義
11	2	深井	リエゾン精神看護② 「がんサバイバー」（緩和ケア）		講義
12	2	深井	「がんサバイバー」（ホスピス・緩和ケア）		講義
13	2	深井	災害後の精神保健活動		講義
14	2	深井	災害後の精神保健活動 依存症（アディクション）		講義
15	2	深井	依存症（アディクション） アルコール ギャンブル		講義
評価方法			筆記試験（100点）		
受講上の注意			授業中の私語、携帯電話、スマホの操作、内職は厳禁とする		
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名：太田 保之ほか編著 精神保健			医歯薬出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他（ ）					

科目名(单元名) 精神臨床看護論	配当時期 2 年前期		担当者 小牟田 淑子	実務経験の有無
	単位数 1 単位 (30時間)	時間数 3 0 時間		有
			実務経験の内容	看護師として病院に勤務
テーマと授業目標				
1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の尊厳を守り、自己実現に向けての回復支援を理解する 3.地域の状況に応じた精神保健福祉サービスのシステムについて理解できる				
授業回数	時間	講師	れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等	授業方法
1	2	小牟田	看護の基本(ケアの前提・原則・方法)	講義
2	2	小牟田	自己理解・他者理解(プロセスレコードの書き方)	講義
3	2	小牟田	関係の視点からみた困難事例	講義
4	2	小牟田	回復を支援する(レジリエンス・エンパワメント)	講義
5	2	小牟田	入院治療の意味(精神保健福祉法・入院形態)	講義
6	2	小牟田	入院中の観察とアセスメント(入院のメリット・デメリット)	講義
7	2	小牟田	地域におけるケアと支援(障害者総合支援法)	講義
8	2	小牟田	学校や職場におけるメンタルヘルス、アンガーマネジメント	講義
9	2	小牟田	精神科における身体ケア	講義
10	2	小牟田	精神科治療に伴う身体ケア(向精神薬の有害反応)	講義
11	2	小牟田	身体合併症のアセスメントとケア	講義
12	2	小牟田	精神科看護の実際(統合失調症)	講義
13	2	小牟田	安全を守る(トラウマインフォームドケア)	講義
14	2	小牟田	自殺、暴力・無断離院についての対処	講義
15	2	小牟田	災害時のメンタルヘルス(DPAD)	講義
評価方法		筆記試験(80点) レポート課題(20点)		
受講上の注意		教科書・資料プリントに沿って講義をします		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際			医学書院 メディカ出版	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(单元名) 精神看護学特論	配当時期	担当者	小牟田 淑子	実務経験の有無
	2 年後期			有
	単位数	1 単位	実務経験の内容	看護師として病院に勤務
時間数	15時間			
テーマと授業目標				
精神障害を持つ人の基本的な看護が理解できる				
1.精神に障害のあるペーパーペイシエントの看護過程が展開できる				
2.被毒妄想のある模擬患者に与薬ができる				
3.5模擬患者に対して実施した看護の振り返りができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小牟田	看護過程について ゴードンの11領域について EMSビデオ（妄想について）	講義
2	2	小牟田	情報の整理 情報の視覚化（主観的・客観的データ）	講義
3	2	小牟田	情報のアセスメントと明確化	講義
4	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案（分析）	講義
5	2	小牟田	ペーパーペイシエントのロールプレイ振り返り 看護計画立案（分析）	講義
6	2	小牟田	看護計画立案立案 分析・計画	演習
7	3	小牟田	看護計画立案立案 発表	演習
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		自己の看護過程展開が主体になってきます 事例検討用のA4ファイルを用意してください		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学①		医学書院		
精神看護の基礎				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
精神科看護の知識と実際		メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他（		）		

科目名(单元名) 感染看護論	配当時期 2年後期		担当者 藤本 憲明	実務経験の有無 有
	単位数 1単位			
	時間数 15時間	実務経験の内容	看護師として病院に勤務	
テーマと授業目標 看護における重要な感染予防対策 目標 看護業務における感染予防対策や法律に関する知識を習得できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤本	I 感染看護における基礎知識 1. 感染対策に用いられる用語 2. 新興感染症・再興感染症について	講義
2	2	藤本	II 感染対策の基本 1. 感染症の定義・感染成立の要素 2. 免疫 3. 標準予防策・感染経路別予防策	講義
3	2	藤本	III 感染症のかかわる法律 感染症法・予防接種法・学校保健法・廃棄物処理法	
4	2	藤本	IV 職業感染症防止への対応 1. 針刺し・切創による血液・体液曝露と職業感染 2. 結核の職業感染 3. 就業制限について	講義
5	2	藤本	V 洗浄・消毒・滅菌	講義
6	2	藤本	VI 感染症別対策について 1. 病院・施設内で問題となる多剤耐性菌紹介と予防 2. 病院・施設内で問題となる感染症別対策と看護 3. 血液媒介感染症	講義
7	3	藤本	VII 医療関連感染の予防策 1. 尿道留置カテーテル関連感染と看護 2. 中心静脈カテーテル及び末梢留置カテーテル関連感染予防策と看護	講義
8				
9				
評価方法			筆記試験(100点)	
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 図書名: 国民衛生の動向 アレルギー・膠原病感染症			出版元 厚生労働統計評価 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 看護学生・新人のための看護ケアに活かす感染対策ガイド第2 微生物・薬理学の教科書			出版元 診断と治療社	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 災害看護論	配当時期 2年後期		担当者 山上 富子	実務経験の有無 有
	単位数 1単位			
	時間数 15時間	実務経験の内容 看護師として、病院に勤務		
テーマと授業目標 1.災害の種類と被害、疾患の特徴などの基礎知識を理解する 2.災害サイクルの各期における具体的な看護活動を理解する 3.災害時のストレスについて理解する 4.被災地での看護活動について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	山上	災害医療の基礎知識(災害の定義、災害の種類と健康障害 災害医療の特徴 災害と情報など)	講義
2	2	山上	災害医療の基礎知識(災害看護の対象と特徴・災害サイクルなど)	講義
3	2	山上	災害と心のケア	講義
4	2	山上	急性期の災害医療・災害看護活動(観察と応急処置・観察の方法) 亜急性期、慢性期の災害医療(被災地での看護活動)	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		1. 授業態度 2. 試験		
受講上の注意		テキストでの事前学習		
使用図書(テキスト) 図書名: 災害看護学・国際看護学			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名:			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 看護管理論	配当時期	担当者	遠田 有利	実務経験 有無
	3 年前期			有
	単位数 1 単位 (30時間中)	実務経験の 内容	看護師として病院に勤務	
時間数 15時間				

テーマと授業目標

チーム・組織の一員として活動する看護職に必須である「マネジメント」は看護の質を保ち看護の提供をすることができることを知る。

学習目標

1.看護管理の考え方、捉え方が理解できる

2.組織マネジメント、キャリアマネジメント、ケアマネジメント、サービスマネジメントについて理解できる

授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	遠田	看護管理概論 看護管理学とは、看護におけるマネジメントの考え方の変遷	講義
2	2	遠田	マネジメントに必要な知識 マネジメントとは、組織	講義
3	2	遠田	組織管理の視点での医療安全 チーム医療 安全管理	講義
4	2	遠田	日常業務のマネジメント チーム医療 業務のマネジメント	講義
5	2	遠田	日常業務のマネジメント 優先順位 多重課題における業務のアセスメント	講義
6	2	遠田	看護サービスマネジメント1 看護組織のマネジメント 看護ケア提供システム 人材マネジメント	講義
7	2	遠田	看護サービスマネジメント2 物品、施設、情報のマネジメント サービス評価 マネジメントに必	講義
8	1	遠田	看護職のキャリアマネジメント キャリア形成と専門職としての在り方	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				

評価方法

筆記100点

受講上の注意

実習での場面が想起できるようにしておいてください

使用図書（テキスト）

図書名：系統看護学講座 看護管理

参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）

図書名：

使用予定の視聴覚機器

パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ

その他（ DVD ）

科目名(単元名) 看護研究 (研究概説)	配当時期 3 年前期		担当者	遠田 有利	実務経験の 有無
	単位数 1 単位 (30時間中)	時間数 20時間			有
			実務経験の 内容	看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標					
1.看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を理解する。					
2.実践した看護をケーススタディとしてまとめ、発表することができる。					
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	遠田	研究の目的・方法		講義
2	2	遠田	看護研究の概要		講義
3	2	遠田	リサーチクエスチョン		講義
4	2	遠田	文献検索		講義
5	2	遠田	倫理		講義
6	6	遠田	データの収集		講義
7	2	遠田	研究計画書		講義
8	2	遠田	研究成果		講義
9	2	遠田	ケーススタディ		講義
10	2	遠田	ケーススタディ		講義
評価方法		筆記試験 67点			
受講上の注意					
使用図書 (テキスト)			出版元		
図書名: 別巻 看護研究			医学書院		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名:					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 (書画カメラ					

科目名(単元名) 看護研究	配当時期 3 年後期		担当者 深井 博文	実務経験の有無 有
	単位数 1 単位 (30時間中)	時間数 10時間		
			実務経験の内容 看護師として病院に勤務	
テーマと授業目標 1.実習における看護実践を振り返り文章化できる 2.理論家が述べる看護について学習し、要旨を文章化できる 3.自分の看護実践と、まとめた看護理論の要旨についてを統合し看護観作成ができる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	オリエンテーション 著名な理論家のメタパラダイム (環境 人間 健康 看護) について知る	講義 演習
2	2	深井	看護理論への理解を深め、自分の考えている 看護について根拠を深める	講義 演習
3	2	深井	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	演習
4	2	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
5	2	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		レポート 46点		
受講上の注意		<u>夏以降、既修得実習ファイルを用意してもらいますが学校管理となります</u> <u>自己の論文作成が主体になってきます。経過はUSBに保存します (安価なもので可)</u> <u>各自でUSBを用意のこと。事例検討用のA4ファイルを用意してください。</u> (紙製2つ穴ファイルを準備してください) 図書室とパソコン室で行います。45分間でパソコン順番を交代してください		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名: 川村佐和子編 ナースングラフィカ基礎看護学④看護研究		メディカ出版		
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 文献レビューの基本 図書名: 看護理論家とその業績		医歯薬出版株式会社 医学書院		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 臨床看護の実践Ⅰ	配当時期 2年後期		担当者	俵内 晃子 小牟田 淑子 中嶋 千恵子 森脇 真紀	実務経験の有無
	単位数 1単位(30時間)	有			
	時間数 30時間	実務経験の内容	看護師として病院に勤務		
テーマと授業目標					
1. 原理原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術を安全・安楽に実践できる 1) 対象者の状況から速やかにアセスメントし、その状況に応じた看護援助を見出すことができる 2) 対象者の状況を速やかにアセスメントし、対象者の安全を護る看護援助を実践することができる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	俵内	事例患者(術後第一歩行)に添った計画立案		講義・演習
2	2	俵内	第一歩行の実施		講義・演習
3	1	俵内	デモスト		演習
4	2	小牟田	精神障害のある対象の環境とコミュニケーションについての援助を学ぶ		講義
5	2	小牟田	抗精神病薬の有害反応についての観察と情報収集について学ぶ		講義
6	1	小牟田	技術試験のオリエンテーション		演習
7	2	俵内	サークルベッドの環境について 採尿・バイタルサイン測定・シーネ固定・バギー		演習
8	2	俵内	演習後のリフレクション 計画の修正		講義・演習
9	1	俵内	計画立案・実践についてのデモンストレーション		講義・演習
10	2	中嶋	事例紹介 新生児の観察 アセスメントの視点 計画立案		講義
11	3	中嶋	褥瘡の看護 新生児の看護 (進行性変化、対向性変化、育児技術)		講義・演習
12	2	森脇	在宅看護実習室で、居宅を想定したセッティングで入室方法やコミュニケーション、バイタルサインを行うための演習		講義・演習
13	2	森脇	在宅看護実習室で 対象者のトイレ誘導の演習		講義・演習
14	1	森脇	技術試験についての説明		講義
15	5	森脇	技術試験		試験
評価方法		技術試験(80点)筆記試験(20点)			
受講上の注意					
・これまでの既習の知識として解剖生理学・病態生理・検査・治療を統合できるようにする ・その場の状況を予測し、対象者に必要な看護を主体的に学ぶ ・実践後のリフレクションによって、課題を見出し、次の計画を考え実践できるようにする ・シミュレーションなどでは、実際の場面を想定しながら取り組むように ・グループワークなどを行う場合、お互いに協力し意見を尊重しましょう					
使用図書(テキスト)				出版元	
図書名: 臨床看護総論 解剖生理学 病理学 各系統別看護テキスト 看護学概論 基礎看護技術				医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)				出版元	
図書名: 目で見える体のメカニズム				医学書院	
使用予定の視聴覚機器					
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()					

科目名（単元名） 臨床看護の実践Ⅱ	配当時期 2年次 後期		担当者 小林 幸路 大嶋 沙佑美		実務経験の有無
	単位数 1単位	実務経験の内容 看護師として病院に勤務			
	時間数 30時間				
テーマと授業目標					
1. 多重の情報から状況を推察・推論し、臨床判断能力を養う。 1) 夜間実習の演習 2) 日勤帯での複数受け持ち、チームナーシングの演習 1) 2) を通して、患者の状況や場を観察し、 ①多角的にアセスメントする。②アセスメント内容を実践し、内容をもとに振り返る					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	小林 大嶋	ガイダンス		講義
2	2	小林 大嶋	対象理解 情報の整理・分析		講義 個人ワーク
3	2	小林 大嶋			講義 個人ワーク
4	2	小林 大嶋			講義 個人ワーク
5	2	小林 大嶋			講義 個人ワーク
6	2	小林 大嶋	演習に向けてのオリエンテーション		講義
7	2	小林 大嶋	演習に向けてチームディスカッション		グループワーク
8	8	小林 大嶋	日勤帯：複数受け持ち及びチームナーシング、リフレクション		演習
9					
10					
11					
12	8	小林 大嶋	夜勤帯：複数受け持ち及びチームナーシング、リフレクション		演習
13					
14					
15					
評価方法		課題、レポートで評価			
受講上の注意		・ A4サイズの紙ファイルを1冊準備してください。 ・ 課題が多くなります。提示された課題は必ず時間を有効に使って学習してください。 ・ 課題、レポートは提出期限を守ってください。遅れた場合は、減点となります。 ・ 実習に繋がれるようしっかり理解し、わからないことは調べたり質問して積極的に学んでいきましょう。			
使用図書（テキスト） 図書名：系統別看護学講座 専門 看護管理			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ （スライド） ・ （CD） ・ カセットテープ その他（ ）					